

【重点戦略のねらい】

1. 人口減少や少子高齢化による厳しい経済環境のなか、札幌の持つ魅力的な地域資源を活かした創造的な食文化産業や集客交流産業を育成する。

2. 到来する超高齢化社会・低炭素社会が生み出す将来的な需要を見据え、新たな価値を創造する札幌型未来産業を創発する。

3. 上記1及び2の創造的な産業群が域外需要を積極的に取り込んでいくための基盤をつくる。

4. 将来の札幌経済を支える市民の潜在能力を引き出し、多様化する地域社会の課題解決や持続可能な社会の実現を図る。

【外需獲得型の産業と雇用の創出】

域外（道外・海外）の需要

域外需要を取り込むための基盤

創造的な産業群

食文化産業・集客交流産業

札幌型未来産業

魅力資源の活用、地場産業の連携、創造的なものづくり

札幌の経済成長を支える人財
ワークライフバランス・ソーシャルビジネスの促進

【社会の変化と動向】

○ 人口減少社会への移行、少子高齢化の進行

○ 経済の低成長化、所得・雇用の不安定化

○ 共働き世帯の増加、女性の社会活動の活発化

○ 若年層の未就業・非正規就業の増加

○ 財政力の低下、公共事業・サービスの縮小

○ NPO・社会的企業・ライフスタイルビジネスの成長

○ 国際的な経済交流の拡大、経済自由化の進展

○ 東アジア地域の経済発展、観光市場の拡大

○ 北海道フードコンプレックス国際戦略特区、コンテンツ特区指定

○ 地球環境問題などによるエネルギー利用の再考

【実現のための重点的取組】

【域外需要を開拓する創造的な産業群の形成】

（魅力的な地域資源を活かした産業の高度化）

人口減少と少子高齢化により域内市場が急激に縮小するなか、札幌が持つ魅力的な地域資源を活かした付加価値の高い食文化産業・集客交流産業を育成することにより、食や観光分野を触媒とした幅広い産業分野における競争力の強化を図り、域外の需要を積極的に取り込む。

①食文化を活かした産業の高度化

豊かな自然や風土・気候に育まれてきた札幌の食文化の魅力を活かし、食分野産業と他分野（観光、健康・福祉、創造）の産業との連携を促進し、新たな付加価値の創出から域外市場の確保までをコーディネートすると共に、関連する企業や人財を域内外から誘致、集積することにより、食文化産業の高度化を図る。

②魅力資源を活かした産業の高度化

自然環境、文化・食資源、都市基盤などの札幌らしい個性と輝きを放つ魅力資源を活かし、観光分野産業と他分野（食、健康・福祉・創造）の産業との連携を促進し、専門的な人財が地域のマネジメントを担うディスティネーション・マネジメントによる来訪者本位の仕組みをつくることにより、集客交流産業の高度化を図る。

（新たな価値を創造していく産業の創発）

到来する高齢化社会・低炭素社会が生み出す将来的な需要を見据え、課題解決に向けた新たな価値を創造する札幌型未来産業を創発することにより、域内外の新たな需要、特に将来同様の課題に直面する海外の需要を積極的に取り込む。

①高齢化社会に対応した産業の振興

人口減少・少子高齢化が急速に進展するなか、到来する高齢化社会が生み出す潜在的な需要を捕捉または喚起し、健康・福祉機器のものづくりや、予防医療に関連した機能性食品などの健康・福祉分野における新たな価値を創造する産業を育成する。

②低炭素社会に対応した産業の振興

地球環境問題などによるエネルギー利用の見直しが迫られるなか、到来する低炭素社会が生み出す潜在的な需要を捕捉または喚起し、エネルギー代替や都心におけるエネルギーマネジメントの推進、積雪寒冷地技術の海外展開などの環境分野における新たな価値を創造する産業を育成する。

③札幌型創造産業の振興

札幌市立大学などの高等教育機関や質の高いデザイナー・クリエイター・アーティストなどが集積する札幌の優位性を活かし、札幌市民のライフスタイルから生み出される魅力を最大限に発揮する札幌型創造産業を育成する。

（産業の進化を支える基盤強化）

①イノベーションの誘発

創造的なものづくりにチャレンジしようとする地場企業、ベンチャー企業や起業家の動きを加速させるため、様々な分野の企業や起業家、研究機関や専門家、投資家やビジネスパートナーなどを結びつけ、イノベーションを誘発するためのビジネスプラットフォームを構築する。

②インキュベーション機能の強化

創造的なものづくりにチャレンジするベンチャー企業や起業家を生み育て、具体的な事業化への取組を支援するインキュベーション機能を強化する。

【域外需要を取り込むための基盤づくり】

①国際経済戦略の積極的展開

中小企業のリスクを軽減するため、アジア・ロシアなどの経済発展地域に対する徹底したマーケティングや、ニーズに応じた商品開発から輸出促進までの一貫した支援や、域内の国際化を支援する体制を強化する。

②広域連携ネットワーク環境の充実

域外とのヒト・モノ・カネの流れを活性化させるため、北海道内の主要な空港や港湾などとの広域連携ネットワークにおけるインフラを充実させる。

③域外からの投資を促す環境の充実

札幌の地域や経済の特性を踏まえ、国内外からものづくり機能や首都圏企業のバックアップ機能などを誘致・集積させるための都市環境を充実させる。

④シティプロモート戦略の積極展開

戦略的なマーケティングに基づき、国際的なイベント開催するなど、豊かな食文化、健康な暮らし、環境との共生、創造的な文化活動などの札幌市民のライフスタイルを世界に発信し、国内外において「SAPPORO」をブランディングする。

【将来の札幌経済を支える人材の育成・活用】

①創造的なものづくりを担う人財の育成

札幌市立大学をはじめとした高等教育機関による専門的な人づくりを充実させると共に、国際的な経営やマーケティングの知識や経験を持つ人財を活用する。

②女性や高齢世代の潜在的な力の活用

地域における生活や教育のサービスを充実させ、子育てや老親介護をしながら働く女性のワークライフバランスや、豊富な社会経験や知識・技能を持つ高齢世代のソーシャルビジネスなどの社会的活動を推進し、女性や高齢世代による社会参加と就業を促進する。

③社会的インターンシップの強化

小学校・中学校・高校・大学などでのものづくりの職業体験、外国への留学体験などの教育プログラムを充実させ、子どもたちの創造性や国際感覚を育むと共に、未就業の若者や女性の就業を支援・促進するため、経済団体・NPOなどと連携・協力し、多様な就業へのプロセスを提供するインターンシップ制度を推進する。